

改元による問題への対応

【Q】最新版(BSS 加入)でないと改元には対応できないのでしょうか？

【A】「日付時刻型」フィールドの設定が「表示方法を使用しているマシンの Windows 設定(地域オプション)に追従」が ON の場合(システム既定)は OS 側の対応次第(対応ケース②)となりますが、それ以外は PC-MAPPING 内部処理のため、プログラムの修正が必要となります(対応ケース①)。

よって、BSS 加入が条件(最新版での対応となるため)となります。

対応ケース①：「日付時刻型」で Windows の設定に追従していない場合

(※2019年4月11日以降の版で対応)

「日付時刻型」フィールドの設定が「Windows 設定(地域オプション)に追従」が OFF の場合(=PCM 内部の日付設定を使用する)、Pcm.ini で以下の設定を行うことで、PC-MAPPING の日付時刻型の元号表示に関して、新元号が表記されるようにしました(将来的に、これがデフォルトになる予定)。

★ini による設定①

[PCMDateTime]

GengoMode=0

- ・ 0=独自の内部処理に従う
- ・ 1=Windows の設定に従う (この設定の場合、「GengoMode1=1」も表示に反映されます)

▼INI 設定なし

	Day	@pcm_和暦	@pcm_和暦2	@Windows追従
1	709/1/1	和銅2年1月1日	709/1/1	0:00:00
2	1192/1/1	建久3年1月1日	1192/1/1	0:00:00
3	1863/1/1	文久3年1月1日	E3/1/1	明治63年1月1日 0:00:00
4	1868/1/1	明治1年1月1日	M1/1/1	明治1年1月1日 0:00:00
5	1912/7/30	大正1年7月30日	T1/7/30	大正1年7月30日 0:00:00
6	1989/1/7	昭和64年1月7日	S64/1/7	昭和64年1月7日 0:00:00
7	1989/1/8	平成1年1月8日	H1/1/8	平成1年1月8日 0:00:00
8	2019/4/30	平成31年4月30日	H31/4/30	平成31年4月30日 0:00:00
9	2019/5/1	平成31年5月1日	H31/5/1	平成31年5月1日 0:00:00
10	2020/1/1	平成32年1月1日	H32/1/1	平成32年1月1日 0:00:00

▼INI 設定あり (GengoMode=0)

	Day	@pcm_和暦	@pcm_和暦2	@Windows追従
1	709/1/1	和銅2年1月1日	709/1/1	0:00:00
2	1192/1/1	建久3年1月1日	1192/1/1	0:00:00
3	1863/1/1	文久3年1月1日	E3/1/1	明治63年1月1日 0:00:00
4	1868/1/1	明治1年1月1日	M1/1/1	明治1年1月1日 0:00:00
5	1912/7/30	大正1年7月30日	T1/7/30	大正1年7月30日 0:00:00
6	1989/1/7	昭和64年1月7日	S64/1/7	昭和64年1月7日 0:00:00
7	1989/1/8	平成1年1月8日	H1/1/8	平成1年1月8日 0:00:00
8	2019/4/30	平成31年4月30日	H31/4/30	平成31年4月30日 0:00:00
9	2019/5/1	令和1年5月1日	R1/5/1	平成31年5月1日 0:00:00
10	2020/1/1	令和2年1月1日	R2/1/1	平成32年1月1日 0:00:00

「GengoMode=1」の場合、後述「対応ケース②」のように「追従」設定が OFF であっても、元号表示については Windows の設定が表示に反映されます。

また、この場合は「元年表示(★ini による設定②)」や「ゼロ埋め表示(★ini による設定③)」と併用することができます。

▼INI 設定あり (=元号表示は Windows に追従するため、日付(元号)に関するレジストリに「令和」が追加されていない限り、新元号表記されませんが、それ以外の表示設定は INI の結果が反映されます。

Day	@pcm_和暦	@pcm_和暦2	@Windows追従
1	709/01/01	和銅2年01月01日	709/01/01 0:00:00
2	1192/01/01	建久3年01月01日	1192/01/01 0:00:00
3	1863/01/01	文久3年01月01日	E3/01/01 1863年1月1日 0:00:00
4	1868/01/01	明治元年01月01日	M1/01/01 1868年1月1日 0:00:00
5	1912/07/30	大正元年07月30日	T1/07/30 1912年7月30日 0:00:00
6	1989/01/07	昭和64年01月07日	S64/01/07 1989年1月7日 0:00:00
7	1989/01/08	平成元年01月08日	H1/01/08 1989年1月8日 0:00:00
8	2019/04/30	平成31年04月30日	H31/04/30 2019年4月30日 0:00:00
9	2019/05/01	平成31年05月01日	H31/05/01 2019年5月1日 0:00:00
10	2020/01/01	平成32年01月01日	H32/01/01 2020年1月1日 0:00:00

[PCMDatetime]

GengoMode=1 (Windows の設定に従う)

GengoMode1=1 (「元年」表示)

NZERO=1 (ゼロ埋め表示)

★ini による設定②

[PCMDatetime]

GengoMode1=1

日付時刻型の元号表示に関して、「〇〇1年」を「〇〇元年」と表示します。

▼INI 設定なし

Day	@pcm_和暦	@pcm_和暦2	@Windows追従
1	709/1/1	和銅2年1月1日	709/1/1 0:00:00
2	1192/1/1	建久3年1月1日	1192/1/1 0:00:00
3	1863/1/1	文久3年1月1日	E3/1/1 明治63年1月1日 0:00:00
4	1868/1/1	明治1年1月1日	M1/1/1 明治1年1月1日 0:00:00
5	1912/7/30	大正1年7月30日	T1/7/30 大正1年7月30日 0:00:00
6	1989/1/7	昭和64年1月7日	S64/1/7 昭和64年1月7日 0:00:00
7	1989/1/8	平成1年1月8日	H1/1/8 平成1年1月8日 0:00:00
8	2019/4/30	平成31年4月30日	H31/4/30 平成31年4月30日 0:00:00
9	2019/5/1	令和1年5月1日	R1/5/1 平成31年5月1日 0:00:00
10	2020/1/1	令和2年1月1日	R2/1/1 平成32年1月1日 0:00:00

▼INI 設定あり

Day	@pcm_和暦	@pcm_和暦2	@Windows追従
1	709/1/1	和銅2年1月1日	709/1/1 0:00:00
2	1192/1/1	建久3年1月1日	1192/1/1 0:00:00
3	1863/1/1	文久3年1月1日	E3/1/1 明治63年1月1日 0:00:00
4	1868/1/1	明治元年1月1日	M1/1/1 明治1年1月1日 0:00:00
5	1912/7/30	大正元年7月30日	T1/7/30 大正1年7月30日 0:00:00
6	1989/1/7	昭和64年1月7日	S64/1/7 昭和64年1月7日 0:00:00
7	1989/1/8	平成元年1月8日	H1/1/8 平成1年1月8日 0:00:00
8	2019/4/30	平成31年4月30日	H31/4/30 平成31年4月30日 0:00:00
9	2019/5/1	令和元年5月1日	R1/5/1 平成31年5月1日 0:00:00
10	2020/1/1	令和2年1月1日	R2/1/1 平成32年1月1日 0:00:00

★ini による設定③

[PCMDatetime]

NZERO=1

日付時刻型の元号表示に関して、「5月1日」等と月日が1桁の場合、「05月01日」と0で埋めて桁数を2桁に統一して表示します。

▼INI 設定なし

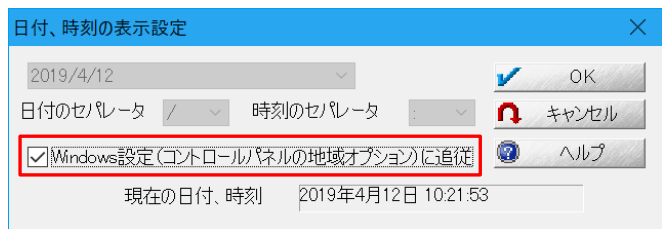
Day	@pcm_和暦	@pcm_和暦2	@Windows追従
1	709/1/1	和銅2年1月1日	709/1/1 0:00:00
2	1192/1/1	建久3年1月1日	1192/1/1 0:00:00
3	1863/1/1	文久3年1月1日	E3/1/1 明治63年1月1日 0:00:00
4	1868/1/1	明治1年1月1日	M1/1/1 明治1年1月1日 0:00:00
5	1912/7/30	大正1年7月30日	T1/7/30 大正1年7月30日 0:00:00
6	1989/1/7	昭和64年1月7日	S64/1/7 昭和64年1月7日 0:00:00
7	1989/1/8	平成1年1月8日	H1/1/8 平成1年1月8日 0:00:00
8	2019/4/30	平成31年4月30日	H31/4/30 平成31年4月30日 0:00:00
9	2019/5/1	令和1年5月1日	R1/5/1 平成31年5月1日 0:00:00
10	2020/1/1	令和2年1月1日	R2/1/1 平成32年1月1日 0:00:00

▼INI 設定あり

Day	@pcm_和暦	@pcm_和暦2	@Windows追従
1	709/01/01	和銅2年01月01日	709/01/01 0:00:00
2	1192/01/01	建久3年01月01日	1192/01/01 0:00:00
3	1863/01/01	文久3年01月01日	E3/01/01 明治63年1月1日 0:00:00
4	1868/01/01	明治元年01月01日	M1/01/01 明治1年1月1日 0:00:00
5	1912/07/30	大正元年07月30日	T1/07/30 大正1年7月30日 0:00:00
6	1989/01/07	昭和64年01月07日	S64/01/07 昭和64年1月7日 0:00:00
7	1989/01/08	平成元年01月08日	H1/01/08 平成1年1月8日 0:00:00
8	2019/04/30	平成31年04月30日	H31/04/30 平成31年4月30日 0:00:00
9	2019/05/01	令和元年05月01日	R1/05/01 平成31年5月1日 0:00:00
10	2020/01/01	令和2年01月01日	R2/01/01 平成32年1月1日 0:00:00

対応ケース②：「日付時刻型」で Windows の設定に追従している場合

「日付時刻型」フィールドの設定が「**Windows 設定(地域オプション)に追従**」が ON の場合、PC-MAPPING の日付時刻型の元号表示に関して、Windows 認識の元号が表記されます。



※PC-MAPPING 側での問題

元号に係ってくる部分は、ベクター内部属性および属性データベースにおいて「日付時刻型」の設定を行っているフィールドで、表示を「和暦」にしている場合のみとなります。

この部分は OS 側の日付（時刻）書式を使用していますので、PC-MAPPING をバージョンアップしなくても新元号で表示されます。

要は現在稼働している OS の Windows Update 等によって新元号がサポートされれば問題ないと思われま

【参考：Microsoft のサポートページ】

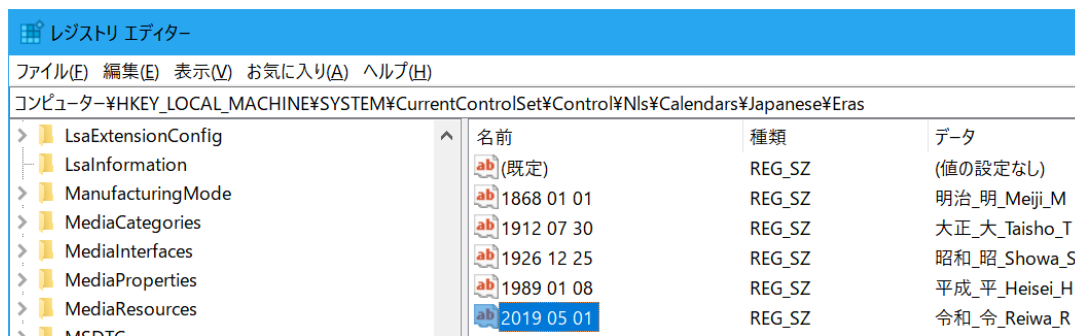
<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4469068/summary-of-new-japanese-era-updates-kb4469068>

日本の元号変更について

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4497197/how-to-prepare-windows-and-office-for-the-may-2019-japan-era-change>

日本の新元号対応に向けて Windows と Office を準備する方法

アップデート前にレジストリ変更で新年号を手動で登録し、テストすることができます。



(1)日付時刻型直結コントロールの表示書式設定

ソーステーブルの日付時刻型フィールドに連結したフォームやレポートのコントロールに、例えば「gg yy 年 mm 月 dd 日」の様な書式を設定している場合、現在稼働している Access がアップデートされ、アプリケーションとして元号対応してくれれば問題ないかと思えます。

ただし、現在稼働しているバージョンの Access が新元号対応してくれない場合は、新しいバージョンの Access に入れ替える必要があるかもしれません。

(2)日付データを別々のフィールドを管理している場合

元号・元号年・月・日をそれぞれ別のフィールドで管理している場合、元号のコードテーブルレコードを追加すれば問題ないかと思えますが、もし西暦年・月・日で管理している場合で、UI 上和暦表示している場合は表示変換部分のしくみを変える必要があるかもしれません。

(3)クエリや SQL で年号処理している場合

例えばクエリの中で IIf([年]>1988,"平成","昭和")等を噛ましていたりすると、いつまでたっても平成になってしまいますので、何らかの修正が必要になります。

(4)VBA で直接年号処理している部分がある場合

もし、VBA の中で、西暦年月日データから和暦にプログラムで変換していたり、元号選択と年入力を VBA でチェックしていたり、和暦年で計算を行ったりしている部分がある場合は、その部分の修正が必要になるかもしれません。